

あさし



2024 11
No. 309



JAえんゆう収穫感謝祭開催！



JAえんゆう
公式Instagram
フォローお願いします

JAえんゆう収穫感謝祭開催！

10月26日、(株)えんがる
 葬祭駐車場で収穫感謝祭
 を開催しました。

開始前から多くの方に
 お越し頂き、えんがる葬
 祭の入口まで続く長蛇の
 列が作られていました。

9時30分に花火の音と同
 時に会場し各農畜産物の
 ブースは大賑わいでした。
 また、JA共済の運転シ
 ユミレーターを体験する
 人や冬タイヤの相談にく
 る方々も見られました。

2回に分けて行われた
 牛乳の無料配布では予定
 時刻前から長い列が出来
 ていました。その際に並
 んでいる方々にインスタ
 グラムの告知をし、20人
 以上の方にフォローをし
 て頂きました。

そして、5台のキッ
 ンカーも来場し、どのキ
 ッチンカーも大盛況でし
 た。

当日は風も強く、少し
 天気も怪しいところがあ
 りましたが、無事終了し
 ました。



キッチンカー



時間帯によっては並ぶ列ができていました



えんゆうカレー販売



牛乳無料配布





ご来場ありがとうございました

各農畜産物販売ブース

どの販売ブースも大賑わいでした



JA共済・冬タイヤ販売ブース



アンケートブース



女性部酪農部会一泊研修



10月15日～16日の2日間、酪農部会の一泊研修を行いました。

1日目は、札幌市にあるホクレンビルを訪れ、酪農部生乳共販課の高橋優太様に「牛乳・乳製品需要拡大事業について」勉強会を行って頂きました。高橋様の説明を聞きながら、熱心に質問をする部員の姿が見られ、とても有意義な勉強会でした。2日目は、江別市にある町村農場の外観や商品などを視察しました。酪農部会では久しぶりの一泊研修でしたが、部員同士での交流を深め合い、とても楽しい研修となりました。



和気あいあいと調理をしていました



10月21日、遠軽町保健福祉総合センターげんき21で調理実習を行いました。遠軽町役場の管理栄養士である市原静江様を講師にお招きし、「冬に向けた代謝アップ料理」のテーマのもと、腸活になるといわれている長芋やヨーグルトなどの食材を使用した4品の料理を考えて頂きました。

当日は、2つのグループに分かれ、作り方を見ながらそれぞれ担当し、調理を行いました。途中、分からないことがあれば講師である市原様に聞いて作るなどの様子がみられました。また、作っている最中も楽しそうに話しながら作る部員の姿が見られました。最後に作ったものを試食しながら、部員同士交流し、研修会は終了致しました。

調理実習をおこないました！
フレンチジュニア酪農班

避難訓練を行いました



10月17日、本所事務所にて避難訓練を行いました。

給湯室から出火したことを想定し、119番に連絡や職員の見誘導など、各課で役割分担を行い、屋外へ避難しました。その後、消火器を使用し、職員が消火訓練を行いました。

今年も無事牧場から退牧しました。 令和6年度公共牧場退牧作業

5月からの約半年間、上湧別・遠軽の各公共牧場で放牧された牛たちの退牧作業が行われました。退牧作業は、10月24日・25日・30日の3日間に分け、JAをはじめとした各牧場関係機関総出で行われました。

牛たちは、職員たちによって仕分けや積込をされ、慣れ親しんだ牧場から帰っていきましました。中には牧場が名残惜しいのか引き返そうとした牛もいましたが、全頭無事畜主のもとへ帰りました。

各牧場から帰った牛たちがこれから元気に過ごしてくれることをご祈念申し上げます。

各公共牧場関係者の皆様、約半年間の牧場運営お疲れ様でした。

遠軽



見晴牧場

生田原



八重牧場

上湧別



旭牧場



家畜車になかなか乗らない牛もいました

第23回JAえんゆうカップパーク ゴルフ大会開催

10月20日に、湧別町五鹿山パークゴルフ場において第23回JAえんゆうカップパークゴルフ大会を開催しました。

上湧別地区・遠軽町地区から多くの方々に集まっていたが、当日は66名(男子44名、女子22名)の方にご参加いただきました。当日は気温5度の中、雨が降ったり、晴れたり目まぐるしい天候で行われましたが、参加者の皆さんは和気あいあいとパークゴルフを楽しまれていました。

上位結果は、次の通りです。

[4コース パー132]



今大会の優勝者
男子の部 加藤 勇さん(写真左)
女子の部 水野恵子さん(写真右)

順位	男	スコア	女	スコア
優勝	加藤 勇	91(グロス91、HD 0)	水野 恵子	96(グロス 95、HD 1)
準優勝	佐々木 勉	97(グロス95、HD 2)	佐々木照子	99(グロス 99、HD 0)
3位	渡辺 正美	99(グロス99、HD 0)	加藤 幸子	103(グロス103、HD 0)

バイオガス合同視察研修を終えて

えんゆう青年部は、10月17日に湧別町農協青年部と、バイオガス合同研修を実施し、バイオガスプラントを視察させて頂きました。

初めに湧別町バイオマス産業都市構想について説明頂き、規模拡大による牛の家畜ふん尿処理が町の課題となっており、課題解決の為、再生エネルギーへの転換（消化液、再生敷料、余剰熱による売電）について事業説明を受けました。

実際の施設等の視察をさせて頂き、各青年部員から多くの質問や交流がありました。

最後に懇親会がおこなわれ、盛会のうちを終りました。



甜菜収穫作業

10月中旬頃から各地区で甜菜の収穫作業が始まりました。

甜菜（ビート）は、砂糖の原料となります。

昨年より、糖度が高く収量も例年並みの見込みとなっております。

甜菜の収穫作業は、11月中旬頃まで行われる予定です。



白滝地区 大久保賢さん 圃場

大豆の収穫作業

10月中旬頃から上湧別地区にて大豆の収穫が始まりました。

昨年より収量が増加し、今年度も去年並みの収量が予想されます。また、今年は雨が少なかったり、気温が例年より高い傾向があった為、大豆の水分量が例年より少ないとのことです。

収穫作業は、11月中旬頃終了の予定となっております。



上湧別地区 加藤聡さん 圃場

農業者だけの特権です。

！知って得する！！

農業者年金 オンラインセミナー

参加費無料
事前登録制

～ほったらかし・低リスク投資で老後の資産形成
節税対策にも活用できる～

本セミナーでは、農業者年金の資産運用の特徴や節税対策への活用方法などを解説します。また、セミナー中は、リアルタイムで質問も受け付けます。

農業者年金や投資・運用などにご興味がある農業者の方は、この機会に是非ご参加ください！！



特にこんな農業者にオススメです！

1. 農業者年金って聞いたことがあるけど、内容がよくわからない方
2. 投資を始めたいけど、運用商品の選択が難しいと感じている方
3. 有効な節税対策の方法をお探し中の方



開催日時

令和6年12月11日(水)

15:00-16:00

- ※1 Webでのオンライン開催 (Zoomを使用) となりますので、PCやタブレットなどの端末及びインターネット回線が必要です。
- ※2 災害等の状況によっては、セミナー内容の変更又は中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ※3 農業者の仲間やご家族などをお誘い合わせの上、1つのPCで複数人でご参加いただくことも可能です。



講師

ジーステラ エンタープライズ
(株) GSTELLA ENTERPRISE
代表取締役 堀口 浩

32年間在籍した(一社)岐阜県農業会議で、農地制度、経営対策及び農業者年金等の各種事業、農業法人協会等農業経営者組織の運営を担当。その後、独立。これまでの知見を活かし、現在は農業経営に関するアドバイスや各種講演を行うなど幅広く活躍中。

平成18年5月 AFP (日本FP協会)
平成20年5月 経営専門相談員 (全国農業会議所)
平成22年5月 農地専門相談員 (全国農業会議所)
令和6年5月 (株) GSTELLA ENTERPRISE 設立

(主な著書 (編集協力)) 「農業法人の設立」(全国農業会議所)
「農業法人化マニュアル」(全国農業会議所)
「よくわかる農家の青色申告」(全国農業会議所)



お申し込み方法

以下の二次元コードを読み取っていただくか、下記URLにアクセスしていただき、予約フォームに必要事項を記入の上、お申込みください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_A7ofmMwXTBWaLsliY3ysHQ



先着500名様、限定！

申込締切：12月10日(火)まで(ただし、定員に達した場合は、申込みを締め切ります。)

申込みはお早めに！

※ 受講方法等の詳細については、ご登録いただいたメールアドレス宛てにご案内いたします。

お問い合わせ



独立行政法人
農業者年金基金 企画調整室

☎ 03-3502-3942 (令和6年11月1日まで)
03-5919-0332 (令和6年11月5日から)
※事務所移転により、電話番号が変更となります。

農業者年金に関する詳細はHPをご覧ください。

🔍 <https://www.nouncn.go.jp/> ✕

表1 分娩頭数および分娩予定頭数
(A農協牛群検定 令和6年3月~令和7年2月)

分娩月	分娩頭数			分娩予定頭数		
	3~4月	5~6月	7~8月	9~10月	11~12月	1~2月
分娩頭数割合 (月頭数/期間内頭数)	16.3%	13.8%	19.2%	18.0%	17.2%	15.5%

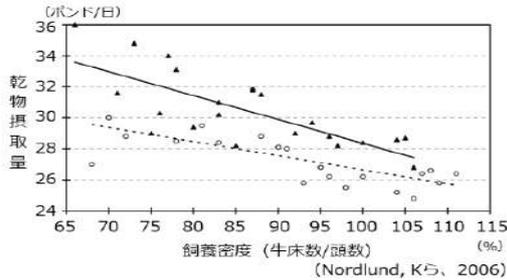


図1 乾乳前期牛の乾物摂取量と飼養密度

表2 乳量および周産期疾病等のリスクを考慮した乾乳期間の設定基準

乾乳期間	305日乳量		第四胃変位		ケトosis		乳熱		乳房炎	
	初産~2産	2~3産以上間	初産~2産	2~3産以上間	初産~2産	2~3産以上間	初産~2産	2~3産以上間	初産~2産	2~3産以上間
15日以下	次産次乳量は大きく低下し、泌乳延長分の		変化無し		変化なし		変化なし		変化なし	リスク増加
16~25日	低下し、泌乳延長分の				リスク低下		変化なし		リスク増加	
26~35日	乳量で補填できない		リスク低下		リスク低下				変化なし	変化なし
36~45日	乳量は低下するが泌乳延長分乳量で補填可能※		リスク低下		リスク低下		変化なし	リスク低下	変化なし	変化なし
46~55日	長分乳量で補填可能※				リスク低下		リスク低下	変化なし		
56~65日	現在推奨されている乾乳期間									

□ で塗りつぶされた範囲内で乾乳期間を設定可能。

※初産牛で分娩前60日直前の検定乳量が18kg以上、2産以上の牛で20kg以上の場合

(道総研酪農試験場 2019)

表3 乾乳期の必要採食量

飼養区分	乾物量	現物量 (水分70%)	備考
2群管理 (~分娩3週間前)	乾乳前期	14~15 kg/日	乾乳牛の体重*0.2%程度 (体重700kgなら14kg)
	乾乳後期 (分娩3週間~分娩)	12~13 kg/日	乾乳牛の体重*0.16%程度 (体重720kgなら12kg)
1群管理	13 kg/日	44 kg/日	乾乳牛の体重*0.17%程度 (体重720kgなら12.5kg)

飲水量の確保
水は飼料の摂取量に大きく関連します。きれいな水をいつでも飲めるように、ウォーターカップや水槽を掃除し清潔な状態を保ちましょう。10頭以上の群管理となる場合、水槽1基では飲水量が不足します。簡易な水槽の増設を検討して下さい。



エサがもりもりある方が食べやすいワヨね

乾乳牛の乾物摂取量確保について
昨年の暑熱等の影響で受胎が偏り、今年は夏以降分娩頭数が多い状況がみられています(表1)。
一時的にですが乾乳牛の頭数が増え、フリーストールやフリーバードの群飼養では、飼養スペースが過密になっていると推察されます。
乾乳牛は飼養環境により乾物摂取量(DMI)が低下しやすく(図1)、周産期疾病を罹患するリスクが高まります。
推奨の飼養密度(フリーバードで1頭当たり面積10㎡以上、フリーストールで全牛床の8割以下の頭数での管理)を守るよう、乾乳期間を短くして乾乳牛の飼養頭数を調整しましょう。

乾乳期間の短縮
乾乳期間は36~65日と従来より短縮が可能です。
乾乳中は乳房内の機能回復をおこなう時期であり、これまでは乾乳期間の短縮により次の産次の泌乳量低下のリスクが懸念されてきましたが、試験研究では次産次の低下乳量分を泌乳延長分の乳量で補填することが可能と報告されています(表2)。

逆に長くした場合、乾乳牛の栄養要求量が低いために過肥になりやすく、分娩後に低カル、ケトosisなどにかかってしまう例があります。
また、乾乳期間40日を基本とする場合、乾乳牛は前期・後期の区分を無くして1群で管理してください。
群移動をした場合、飼養環境に慣れる前の移動となる可能性があり、DMIを落とすリスクがあります。
つなぎ飼養での乾乳牛管理
つなぎ飼養の場合、乾乳牛の頭数が過剰に増えることで飼料採食量の把握が十分にされず、DMIの低下を招いた例がありました。飼料はケチらず、いつでも牛の目の前に新鮮なエサがあたると飼養環境づくりが望まれます。

飼料給与と飼槽管理
乾乳牛は1日当たり乾物量12~15kg程度の飼料が必要です。牛の腹の張り具合で採食量を確かめつつ十分な量給与しましょう。
エサ押しは1~2時間毎を目安におこなってください。群管理の場合、頭数が多いと1頭当たりの飼槽幅が狭まります。十分な飼料採食のためには頻回のエサ押しがより重要です。また、エサが飼槽に山になって置かれていたり乾乳牛はより自由な姿勢で飼料採食できます。

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第4回「農政活動の仕組み」について

コロナ禍による農畜産物の需給緩和、肥料・飼料をはじめとする生産諸資材の価格高騰、気候変動の抑止に向けた環境負荷軽減の取組み、年々甚大化する自然災害による農地・施設等の損壊、深刻な労働力不足など、我々JAグループの努力だけでは解決できない課題が山積しております。

食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立のためには、我々の努力だけではなく、国の支援が不可欠であります。そのカギとなるのが農政活動であります。

農政活動とは、組合員一人ひとりの声をJA・地区で集約し、みんなの声として、農業・農村・JAに理解のある国会議員に対し、現場の実態を届け、その課題の解決につながる政策を実現してもらう一連の活動・運動であります。

令和5年度は、食料・農業・農村基本法の改正や、作目別の経営安定対策をはじめとする農林水産予算の確保に向け、JAグループ北海道では農政活動を展開しました。その結果、予算の確保をはじめ、さまざまな政策支援が実現しました。しかし、これですべての課題が解決する訳ではなく、生産現場には、まだまだ課題が山積しております。

生産現場の実態を届け、我々の求める政策を実現させるためには、国会議員による国や行政への積極的な働きかけが重要です。そして、そのような議員を支えていくことも農政活動の柱の一つであります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要であります。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第5回)は、参議院選挙の仕組みについて紹介します。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

理事会のあらまし

第10回理事会

(令和6年10月24日)

◇報告事項

1. 専門部会の開催結果について
2. 秋季地区別懇談会の開催について
3. 組合員の異動状況について
4. 第23回JAえんゆうカップパークゴルフ大会の結果について
5. 2024北海道ホルスタインナショナルシヨウ結果について
6. 令和6年度JA共済コンプライアンス点検結果について
7. 疑わしい届出について
8. コンプライアンス事故報告について
9. その他

◇議案

1. 令和6年度 賦課金の賦課徴収について
2. 原案通り承認されました
役員視察研修の実施について
原案通り承認されました
3. 令和5年度 玉葱本精算(最終)について
原案通り承認されました

今回から「農政運動に取り組む意義」や「参議院議員選挙の仕組み」について解説いたします。

JAグループ



Q「農政運動」ってなんですか？

A 「農政運動」とは、**農家・JA役職員の声を集め、理解者を増やしてみんなの声にし、政治の場に届けて**農業・JAの発展をめざす**政治活動**のことです。



日常の課題

国内農業を取り巻く情勢が不安定

- 農業資材や飼料価格などが急激に高騰!
→ 農畜産物の出荷価格がそれに伴い適正な価格にならない
- 自然災害が多発し、局地的・被害規模も大きい

「農政運動」を展開

JAグループは全国のJAを通じて、農家・JA役職員の皆さんの声を集め、政府や与党、地方行政などにも課題解決のため要請活動を展開

政策の実現

課題の解決に向けて、国から支援や対策を得る。

- (例)
- 新型コロナ対策
農家個人に最大150万円を支給
※JAグループの実績
採択件数は10万円を超え、1、2次公募で約1,200億円
 - 肥料価格高騰対策事業
・ 肥料高騰分の7割補填(788億円)
 - 高温対策栽培体系への転換支援
・ 高温耐性品種の導入等、高温対策栽培体系への転換支援

などが実現しています。

次回は「農政運動のポイント」はなんですか？

◆今月の主な記事◆

- ◎ JAえんゆう収穫感謝祭開催！ 2
- ◎ 女性部酪農部会一泊研修 2
- ◎ フレッシュユミス酪農班 2
- ◎ 避難訓練を行いました 4
- ◎ 令和6年度公共牧場退牧作業 4
- ◎ 第23回JAえんゆうカップパークゴルフ大会開催 5
- ◎ バイオカガ合同視察研修を終えて 5
- ◎ 甜菜収穫作業 6
- ◎ 大豆の収穫作業 6
- ◎ 農業者年金 7
- ◎ 普及センターより 8
- ◎ JAグループ北海道の農政活動強化に向けて 第4回 9
- ◎ 理事会のあらまし 9
- ◎ 農政ゼミナール1 10
- ◎ まちがいがさし 10
- ◎ プレゼント付まちがい探し当選者発表 10
- ◎ 読者の声 11
- ◎ 秋の農事部懇談会開催について 11
- ◎ J Aカレッジ 12

まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



解答欄

--	--	--	--	--



毎月1,000円分のクオカードを
当選者5名の方に送ります。
たくさんのご応募、お待ちしております！！

出題・イラスト：酒井栄子



10月号の抽選者は
菅井美德理事でした

次号の応募も
お待ちしております♪

プレゼント付まちがい探し当選者発表

10月号の答えは「①④⑧⑩⑪」でした。
冬が近づいてきました。体調にお気をつけて
ください。当選者は以下の方々です。

- | | | |
|--------|----|------|
| 湧別町上湧別 | 石田 | 京子さん |
| 湧別町上湧別 | 高橋 | 行奈さん |
| 遠軽町白滝 | 斉藤 | 範幸さん |
| 遠軽町 | 桜井 | 梨可さん |
| 遠軽町 | 田澤 | 杏梧さん |



読者の声



天気予報で雪マークや(二)マイナスの表示を見るようになりました。
畑作業ももう少しですね。体調には気を付けて！
(匿名)

めつきり秋になりましたね。体調に気を付けて生活してください。
(匿名)

最近朝も寒くなり、冬が近づいてきた感じがしますね。体調にはお気を付けてください。

久々に実家に帰ってきたら猫が太ってました。可愛すぎて札幌につれて帰りたいです。
(じゅったん)

動物はとても可愛いく、癒しですよ。叶うことなら共に行動したいところです(笑)

秋の農事部懇談会開催について

例年実施しております秋季農事部懇談会を下記の日程により開催いたします。
日程上、都合の悪い場合は、本所営農課若しくは各支所までご連絡をお願いいたします。

【秋季農事部懇談会日程】

	午 前 10:00~12:00	午 後 13:30~15:30
11月26日(火)	開盛・札富美・旭 JA本所会議室	富美・上富美 JA本所会議室
11月27日(水)	4の3・5の1 JA本所会議室	屯市・5の3 JA本所会議室
11月28日(木)	4の1・4の2 JA本所会議室	遠軽 JA遠軽支所会議室
11月29日(金)	生田原 JA生田原支所会議室	丸瀬布・白滝 遠軽町白滝総合支所

※丸瀬布・白滝地区の懇談会につきましては、13:45~となります。

JAへの就職希望者100%就職 (令和5年度実績)

令和7年度 第2回学生募集

- 定員40名
- 男女共学
- 1カ年
- 寮完備(個室)
- 通学制開始
- 受験資格:満27歳未満(令和6年4月1日現在)/
大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:12月7日(土)
- 願書受付:10月1日(火)~11月22日(金)消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人
北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417【JAカレッジ】で 

令和7年度より
通学制開始



発行日 令和6年11月10日
発行所 えんゆう農業協同組合 関口哲治
編集者 宮農担談課 宮農企画係
印刷所 株式会社 岡田印刷

〒099-6501 北海道紋別郡湧別町上湧別屯田市街地230番地
TEL 01586-2-2161 / FAX 01586-2-4797
ホームページ <https://www.ja-enyu.com/>
メールアドレス ja-enyu@ja-enyu.jp